

# 日本情報考古学会第40回大会のご案内

日本情報考古学会第40回大会を下記の要領で開催いたします。小豆島町のご協力のもと、実施の運びとなりました。様々な取り組みがなされており、大会テーマ「デジタル技術と地域貢献」を考えるにふさわしい場所といえます。意義ある大会としたいと考えておりますので、ご協力をお願い申し上げます。会員はもとより、研究者・学生・一般の方々も広く歓迎いたします。お誘いあわせのうえ、多数ご参加くださいますよう、お待ちしております。

日本情報考古学会第40回大会実行委員会

## 大会テーマ デジタル技術と地域貢献

期日： 2018年3月24日(土)・25日(日)

会場： **小豆島ふるさと村 セミナーハウス**（香川県小豆郡小豆島町室生）  
高松・岡山・姫路などからフェリー・高速艇等でアクセス。池田港が会場最寄りの港です。池田港一会場の間はマイクロバス等での送迎を予定（5分）。参加申し込みの方は他の港も可能な限り対応します。詳細は学会HPおよび別紙「いざない」をご覧ください。

特別セッション

3月25日(日)

13:00-14:00

## 小豆島の「石の文化」とパブリック考古学

講演 川宿田好見

対談・座談「石・伝統・社会・技術」

川宿田光憲氏（小豆島町企画財政課長）×藤田精氏（文化財石垣保存技術協議会 技能講師）＋参加者

第1日 3月24日(土) セミナーハウス 13:00 開始、17:30 終了 懇親会 18:00～

13:00-13:10 **開会式** 挨拶：実行委員長 川宿田好見

### セッション1 デジタル記録と社会貢献

研究発表1 13:10-13:30 ドローン空撮による考古遺跡の可視化  
及川昭文((株)M&S システムズ)

研究発表2 13:30-13:50 遺跡および周辺地形の三次元計測と写真記録を考える—SfM-MVS と簡易  
LiDAR による実践から—  
太郎良真妃（鹿児島国際大学大学院）

研究発表3 13:50-14:10 近現代考古資料としてのガラス瓶と島民の記憶—三島村黒島大里遺跡出土遺物の  
考古学的記録、オーラル・ヒストリー、アイデンティティの再構築—  
平川ひろみ（同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター / 鹿児島国際大学）

研究発表4 14:10-14:30 九州文化財計測支援集団の活動  
永見秀徳（九州文化財計測支援集団）

### セッション2 デジタル技術の応用と考古学研究の高度化

研究発表5 14:30-14:50 三次元計測と SfM/MVS を用いた横穴式石室構築技術の分析  
○青木 弘（公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団）、横山 真（株式会社ラング）、千葉 史（株式会社ラング）

研究発表6 14:50-15:10 三次元計測の成果から土器を読み解く—微細形態・技法・製作者に関する諸情報—  
中園 聡（鹿児島国際大学）

研究発表7 15:10-15:30 考古学における三次元計測・記録は何を目指すか—その公開と活用に関する批判的考察—  
平川ひろみ（同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター / 鹿児島国際大学）

—————休憩————— 15:30-15:40

### セッション3 人類と物質文化の伝播・継承・保存

研究発表8 15:40-16:00 マルコポーロと弩弓  
岡安光彦（一般社団法人由比ヶ浜文化財保存修復研究所）

研究発表9 16:00-16:20 考古学から見たホモ サピエンスの日本列島への渡来と拡散 第4報  
植木 武（共立女子学園名誉教授）

研究発表10 16:20-16:40 文化財修復は誰のものか

○岩月真由子（由比ヶ浜文化財保存修復研究所）・赤塚次郎（ニワ里ねっと）・岡安光彦（由比ヶ浜文化財保存修復研究所）

### 16:40-17:30 ポスターセッション

研究発表11 甕棺からみる弥生時代の人口動態と集団的暴力  
中川朋美（岡山大学）

研究発表12 小豆島における SfM-MVS による文化財の記録と活用—小学生による実践の試み—  
川宿田好見（同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター）

研究発表13 同形態かつ異系統技法の土器をめぐる考古学的解釈の落とし穴—民族考古学と弥生土器—  
平川ひろみ（同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター / 鹿児島国際大学）、中園 聡（鹿児島国際大学）

研究発表14 SfM-MVS による考古資料の三次元計測・記録とその「品質」に関する検討—精度・目的・問題意識—  
太郎良真妃（鹿児島国際大学大学院）・中園 聡（鹿児島国際大学）

**懇親会 18:00～ 国民宿舎 小豆島** ※会場から国民宿舎までバスが出ます。

第2日 3月25日(日) セミナーハウス 9:00 開始、14:50 終了

### エクスカーション 9:00～12:00

会場→国指定史跡 大坂城築城残石(天狗岩丁場など)→小豆島オリーブ公園→池田の棧敷→会場  
案内・解説：川宿田好見、藤田 精 （雨天決行）  
—————昼食————— 12:00-13:00

### 特別セッション 13:00-14:00 「小豆島の「石の文化」とパブリック考古学」

講演 「小豆島の「石の文化」とパブリック考古学」 川宿田好見

対談・座談「石・伝統・社会・技術」 川宿田光憲 × 藤田 精 氏＋参加者

### セッション4 デジタル記録と社会貢献—日本と海外—

研究発表15 14:00-14:20 土器製作シークエンス(粘土から製品まで)の三次元記録—民族考古学的調査に  
おける製作工程—

○太郎良真妃（鹿児島国際大学大学院）、平川ひろみ（同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター / 鹿児島国際大学）、三辻利一（鹿児島国際大学）

研究発表16 14:20-14:40 中国におけるパブリック考古学の現状と課題  
楊 帆（鹿児島国際大学大学院）

14:40-14:50 **閉会式** 挨拶会長 植木 武

- 大会参加費（『日本情報考古学会講演論文集』Vol.20 通巻40号・資料代込み）会員 2000円、非会員 3500円  
※地域貢献の一環として、小豆島に居住もしくは通勤・通学されている一般の方は無料（上記資料集が必要な方は実費）
- 懇親会は、第1日(土)終了後、18:00より予定。懇親会費 5000円を予定。（詳細は学会HPでお知らせいたします）
- 大会参加については、学会HP等もご確認のうえ同HPの大会参加申込フォームよりお申込みください。同フォームで宿泊予約も承っております。  
当日参加も可能ですが、送迎等の十分な対応ができかねますので、ご了承ください。
- 2日目の昼食は小豆島ふるさと村内の喫茶やそうめん館をご利用ください。または各自でご用意いただいても結構です。
- 詳細・変更等は学会ホームページで逐次ご案内します。必ずご確認ください。http://www.archaeo-info.org/
- お問い合わせ等は、第40回大会実行委員会までメールでお願いします。jsai40th<跡>gmail.com <跡>を@に変えてください。